

## 令和元年度全国学力・学習状況調査について

本年4月18日（木）に3年生を対象に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、全国・県の結果と合わせて本校の状況をお知らせします。

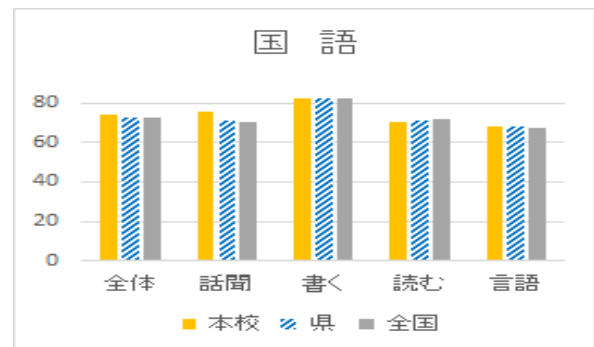
ただし、本調査により測定できる学力は一部であり、競争をあおるものではありません。分析の結果を、これからの授業改善や指導方法の工夫等の取り組みにいかしていきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 1. 教科の調査から ～国語・数学・英語～

評価について A：全国平均との差が+3%を超える  
B：全国平均と同等から+3%まで  
C：全国平均との差が-3%まで  
D：全国平均との差が-3%を下回る  
※ 表の数値は、すべて「平均正答率(%)」を表しています。

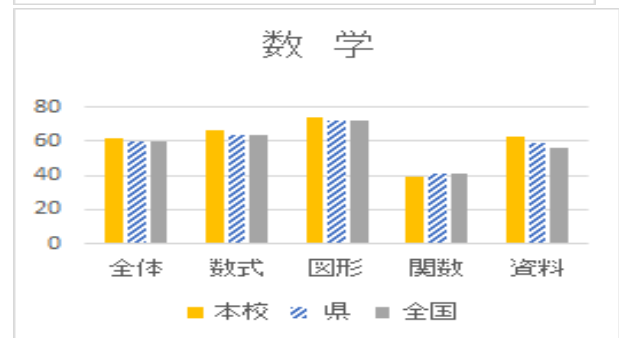
## 【国語の正答率】

領域	本校	県	全国	評価
全体	74	73	72.8	B
話すこと・聞くこと	75.8	70.9	70.2	A
書くこと	82.1	82.7	82.6	C
読むこと	70.5	71.5	72.2	C
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.9	67.8	67.7	B



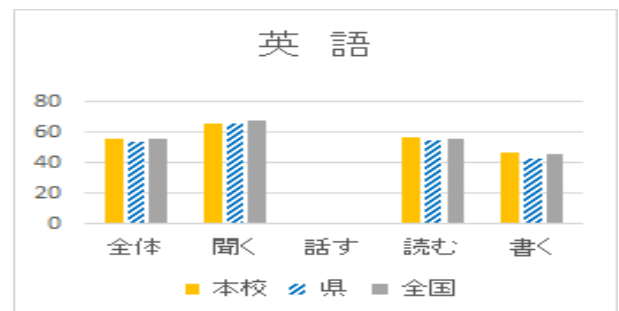
## 【数学の正答率】

領域	本校	県	全国	評価
全体	62	60	59.8	B
数と式	66.7	63.8	63.8	B
図形	73.7	71.6	72.4	B
関数	38.9	40.7	40.8	C
資料の活用	62.4	58.5	56.3	A



## 【英語の正答率】

領域	本校	県	全国	評価
全体	56	54	56.0	B
聞くこと	65.7	66.0	67.9	C
話すこと	-	-	-	
読むこと	57.0	54.9	55.6	B
書くこと	46.8	43.0	45.8	B



## 【国語】

- 全国平均を 100 としたときの比が今年度 101.6 でした。昨年度 98.8 (知識と応用の平均)、一昨年度 98.9 (知識と応用の平均) でしたので、着実に上がってきています。
- 「話すこと・聞くこと」の領域は、全国比より高くなっています (+5.6)。話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く設問では、全国比+10.1 で正答率が特に高かったです。グループ学習など、友達の意見や自分の考えを交流する学習の成果の表れだと思います。
- 「書くこと」の領域は、全国比よりやや低いです (-0.5)。意見文を下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する設問は、全国比-3.2 と低かったです。広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える設問では+0.6 とやや高く、自分の意見を取り入れて書くことができている。
- 「読むこと」の領域は、全国比で低くなっています (-1.7)。特に、「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。・・・第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する設問は、全国比-8.1 で正答率が特に低かったです。「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く設問では+3.5 と高く、選んだ短歌の情景や心情が読み取れています。今後も、さまざまなジャンルの文章に触れ、想像力を高め、読む力を付けていきたいと考えています。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全国比とほぼ同じです (+0.2)。「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の住所と名前を書く設問では、封筒の中央に名前、右側に住所を適切に書いています。また、語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する設問は、全国比より+3.4 高く、日々漢字や語句などの意味を反復学習した結果だと言えます。今後も、継続的な学習が大事になってきます。

## 【数学】

- 全国平均を 100 としたときの比が、今年度 103.7 でした。昨年度 94.7 (知識と応用の平均)、一昨年度 91.2 (知識と応用の平均) でしたので、かなり上がりました。
- 「数と式」の領域は、全国比で高くなっています (+2.9)。特に、 $a$  と  $b$  が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数となるとは限らないものを選ぶ設問では、全国比+6.2 で正答率が特に高かったです。授業の導入やまとめの時間に、振り返りの問題を継続して行った成果が表れていると思います。
- 「図形」の領域は、全国比で高くなっています (+1.3)。特に、証明で用いられている三角形の合同条件を書く設問では、全国比+6.3 で正答率が特に高かったです。
- 「関数」の領域は、全国比で低くなっています (-1.9)。特に、冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差が表すものを選ぶ設問では、全国比-5.1 で正答率が特に低かったです。長い文章を読み、それを理解して証明や説明をする問題が苦手なので、問題に慣れるように、このような問題を授業に少しずつ取り入れていきます。
- 「資料の活用」の領域は、全国比で高くなっています (+6.1)。特に、図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ設問では、全国比で+10.6 で正答率が特に高かったです。この領域は1年で扱うが、2年のときに復習として数回問題を解くことにより、学力が定着したと考えられます。

## 【英語】

- 全国平均を 100 としたときの比が、今年度 100.0 でした。
- 「聞くこと」の領域は、全国比で低くなっています (-2.2)。特に、イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える設問では、全国比-8.6 で正答率が特に低かったです。まとまりのある長い英文を聞き理解することが苦手なので、key word (何度も出てくる語や人名、地名、曜日、時間など) をしっかりメモを取りながら聞くよう指導するとともに、授業でもリスニング練習にかけける時間を増やしていきます。
- 「読むこと」の領域は、全国比で高くなっています (+1.4)。特に、ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する設問では、全国比+6.7 で正答率が特に高かったです。毎回授業で多読教材を使用し、100語程度の英文を読む練習をした成果が現れていると思います。

- 「書くこと」の領域は、全国比で高くなっています(+1.0)。特に、与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く設問では、全国比で+10.7で正答率が特に高かったです。ライティングノート作り、自由に英文を書いて定期的に提出することで、少しずつ書く力がついていったと考えられます。

## 2. 生徒質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～

### 【本校で十分に満足いく結果のもの】(90%以上が肯定的な回答)

- 【生活習慣など】
- ◎朝食を毎日食べている(96.8%) (全国比+3.7%)
  - ◎毎日、同じくらいの時刻に起きている(93.7%) (全国比+0.9%)
- 【学校生活など】
- ◎先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う(94.7%) (全国比+10.1%)
  - ◎物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある(91.6%) (全国比-2.3%)
  - ◎学校に行くのは楽しいと思う(91.6%) (全国比+9.7%)
  - ◎学校の規則を守っている(97.9%) (全国比+1.7%)
  - ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う(98.9%) (全国比+3.8%)
  - ◎人の役に立つ人間になりたいと思う(95.8%) (全国比+1.5%)
  - ◎学校の部活動に参加している(97.9%) (全国比+11.3%)

### 【全国より上回っている「満足いく」結果のもの】

- 【生活習慣など】
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている(87.3%) (全国比+9.3%)
  - 家の人と学校での出来事について話をする(84.2%) (全国比+7.8%)
  - 自分には、よいところがあると思う(74.7%) (全国比+0.6%)
  - 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している(74.8%) (全国比+4.5%)
  - 人が困っているときは、進んで助けている(88.4%) (全国比+2.5%)
  - 読書は好きである(70.5%) (全国比+2.5%)
  - 新聞を読んでいる(19.0%) (全国比+6.3%)
  - 今住んでいる地域の行事に参加している(67.3%) (全国比+16.7%)
  - 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある(45.3%) (全国比+5.9%)
  - 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う(66.3%) (全国比+7.0%)
- 【学校生活など】
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている(89.5%) (全国比+8.0%)
  - 学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある(88.4%) (全国比+5.6%)
  - 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、ひろげたりすることができていると思う(76.8%) (全国比+4.0%)

### 【全国より下回り、課題がある結果のもの】

- 【生活習慣など】
- △将来の夢や目標を持っている(68.4%) (全国比-2.1%)
  - △外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う(54.8%) (全国比-7.6%)
- 【学習習慣など】
- △家で、自分で計画を立てて勉強している(47.4%) (全国比-3.0%)
  - △授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている(70.5%) (-4.4%)
  - △学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たり2時間以上、勉強をする(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(33.7%) (全国比-1.8%)

## 【学習についての質問】

### 【国語】

- 国語の勉強は好きである（64.3%）（全国比+2.6%）
- △国語の勉強は大切だと思う（87.4%）（全国比-3.6%）
- △国語の授業はよくわかる（72.6%）（全国比-5.0%）
- △国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（86.3%）（全国比-1.7%）

### 【数学】

- 数学の勉強は好きである（64.2%）（全国比+0.3%）
- 数学の勉強は大切だと思う（89.5%）（全国比+5.3%）
- △数学の授業はよくわかる（73.7%）（全国比-0.2%）
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（86.3%）（全国比+10.1%）

### 【英語】

- 英語の勉強は好きである（70.5%）（全国比+14.5%）
- △英語の勉強は大切だと思う（85.2%）（全国比-0.2%）
- 英語の授業はよくわかる（73.6%）（全国比+7.8%）
- △英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（84.2%）（全国比-1.2%）

## 【質問紙から分析と考察】

本校の生徒は、地域の活動（行事やボランティア活動等）を通して地域の人たちとの関わりの中で成長している傾向が顕著です。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ、学校の規則は守る、人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒がほとんどです。相手を思いやり正義感が強く献身的な生徒が多いことがわかります。こうした道徳的意識の高さが学校の日常生活の落ち着きになって表れていると考えます。また、毎日同じくらいの時刻に寝起きし、朝食も食べる生徒の割合が高いなど生活習慣が定着しているといえます。

また、「自分には良いところがある」と回答した生徒は全国比に比べ、ここ数年はかなり低くなっていましたが、今年度は少し高くなりました。「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒は全国に比べて高くなっていますので、今後は生徒同士でお互いの頑張りを認め合う機会を意図的に設定していきたいと考えます。また、家の人と学校での出来事について話をする生徒も多いので、ご家庭でもお子さんの頑張りをしっかりとほめていただければと思いますし、学校、家庭、地域が一体となって生徒を育てていきたいと考えています。

家庭学習については、「平日2時間以上勉強する」と回答した生徒が、全国比でやや低くなっており、このことは本校の大きな課題です。学習内容が分かるように授業改善を図りながら、学校で学習したことを反復させたり、予習させたりしながら、生徒が家庭で自主的に学習に取り組めるようにしていきたいと考えています。このことは、「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒が全国に比べ低くなっていることと関係があるかもしれません。キャリア教育を充実させながら内発的動機付けをし、家庭学習への意欲につなげていきたいと考えます。家庭においては、お子さんが学習しやすい環境や雰囲気づくりをお願いします。